

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こども療育スポット キャンパス			
○保護者評価実施期間	令和8年1月12日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年1月12日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<環境> 常に清潔に心地よく過ごせるようにし、子ども達の活動に合う生活空間にしている。	<ul style="list-style-type: none"> 午後2時と支援終了後の清掃、2時間毎のドアノブ等消毒、1時間毎の換気を行い、視覚的に安らげるように玄関・トイレなどに花を飾っている。 活動スペースは、ローテーブルと椅子、本のみを配置し、玩具等は別の場所に置き、落ち着ける活動しやすい空間にしている。 	引き続き、「清掃箇所・消毒時間のチェック表」を活用し、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を徹底する。
2	<適切な支援> ・5領域を踏まえた個別支援計画の作成、計画に沿った支援を行っている。 ・活動プログラムは固定化しないようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画及び専門的支援実施計画の目標に照らし合わせた日々の支援記録、月毎のまとめ、半年ごとのまとめを記入し、職員間で共有し、適切な支援と面談時の保護者様への説明につなげている。 週替わりの活動ごとに計画書を作成し、職員間で見合い、実施後は見直しをし、次回に反映させている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの目標に十分に沿った見方と支援に取り組む。 子どもの様子や言動をよく捉えて活動内容に反映させる。
3	<満足度> 子どもは安心感を持って通所を楽しみにし、保護者様には事業所の支援に満足して頂いている。	子ども一人ひとりのありのままを認め、受け容れ、所内は常に穏やかな空気であることを全職員が心がけ、適切な声の大きさや話し方を意識している。	引き続き、「第三者の目でいつ見られてもOK」な所内の雰囲気作りに努める

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通信や会報は発行していない。	<ul style="list-style-type: none"> 活動概要及び支援プログラム、事業所評価結果は、ホームページでの公開と紙面配付等をしている。 日々の活動内容等は、連絡帳と必要時は電話でお知らせをし、半年ごとの面談に合わせて、子どもと所内の様子を直に見て頂いているので、通信等は発行していなかった。 	保護者様に事業所の取り組みや活動の様子などを総括的に伝えられるように通信等の発行をする。
2			
3			